



“地域のことは地域で考えよう”

2020年7月30日

## おきぎん県内景況・速報 2020年6月

◎県内景況は、一部で復調の動きがみられるが、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、依然として厳しい状況が続いている

### ■個人消費

スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高は前年同月を下回る。  
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も下回る。

### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。  
生コンは前年同月を下回り、セメントは上回る。

### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数も下回る。  
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで下回る。  
ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

### ■企業倒産

件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

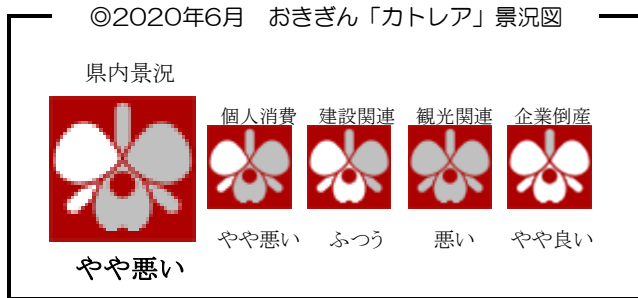
## 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2020年6月分)



◎概況：県内景況は、一部で復調の動きがみられるが、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、依然として厳しい状況が続いている

6月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月上回りました。新車販売台数は前年同月を下回りました。

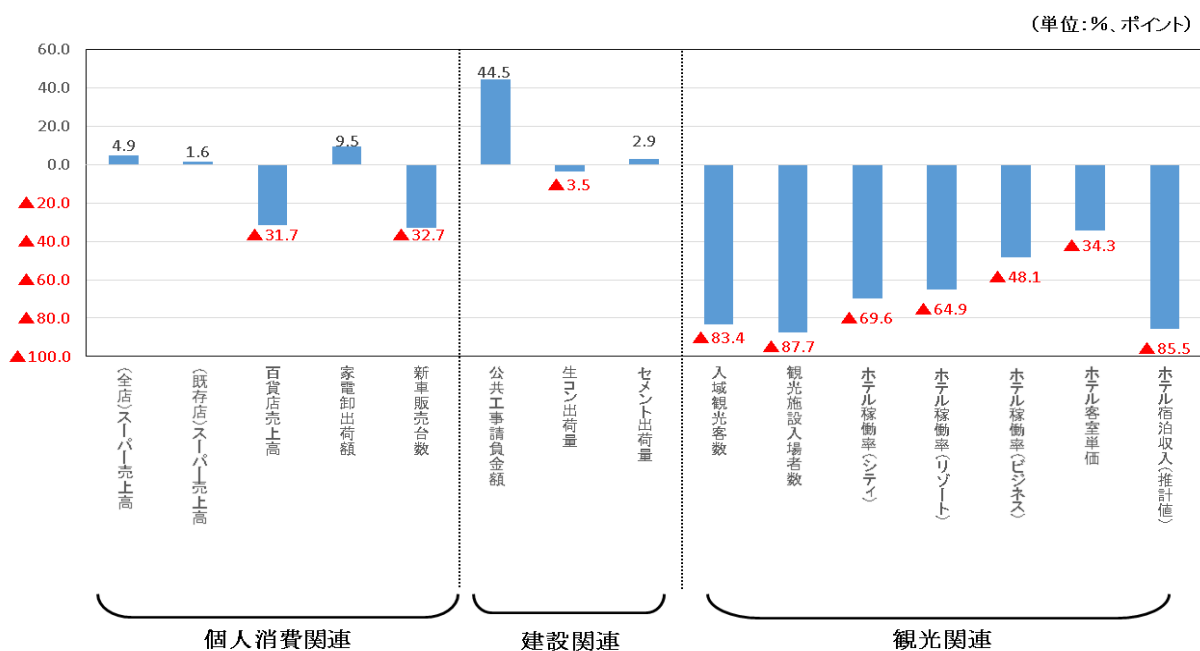
建設関連では、公共工事請負金額は2ヵ月ぶりに前年同月上回りました。建設資材である生コンは前年同月を下回り、セメントは上回りました。

観光関連では、入域観光客数は6ヵ月連続で前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連は弱含みがみられる中、個人消費は経済政策により持ち直しの動きがみられるものの、観光関連は依然として厳しい状況にあることなどから、「県内景況は、一部で復調の動きがみられるが、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、依然として厳しい状況が続いている」と景気判断を据え置きました。

(2020年4月の下方修正から3ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

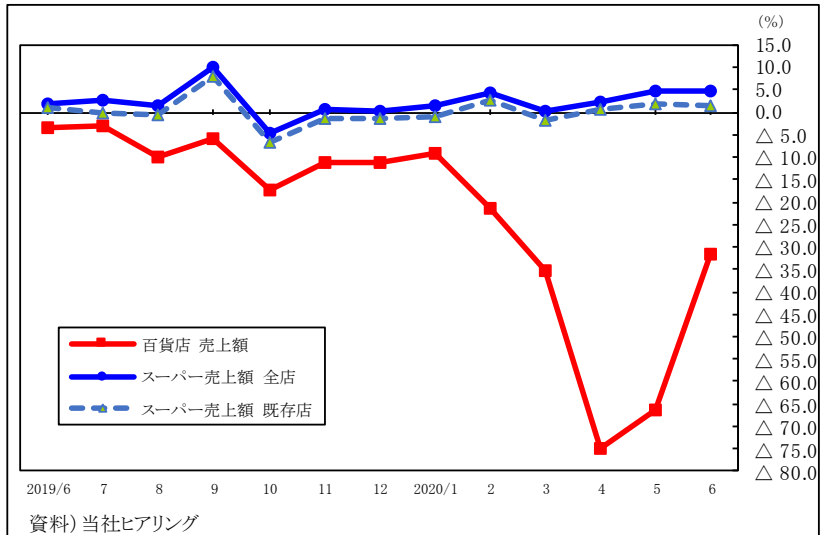




■個人消費： (やや悪い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2019/6	1.7	1.2	△ 3.6
7	2.5	△ 0.02	△ 3.1
8	1.3	△ 0.5	△ 10.0
9	10.2	8.1	△ 5.9
10	△ 4.8	△ 6.6	△ 17.2
11	0.5	△ 1.2	△ 11.3
12	0.3	△ 1.5	△ 11.2
2020/1	1.4	△ 0.8	△ 9.3
2	4.5	2.8	△ 21.3
3	0.4	△ 2.0	△ 35.2
4	2.3	0.7	△ 75.1
5	4.6	1.9	△ 66.2
6	4.9	1.6	△ 31.7



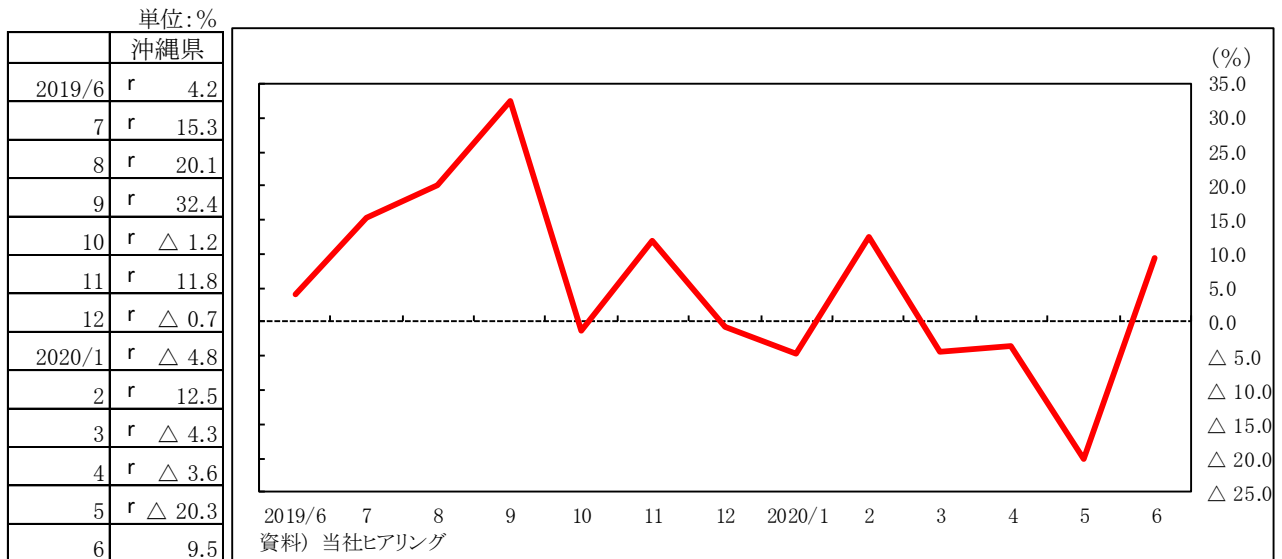
注) 前年同月比

6月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比4.9%増)」は、新規出店効果や、緊急事態宣言の解除を受けた外出自粛要請の緩和により、「食料品(同1.7%増)」、「衣料品(13.1%増)」、「家庭用品(同14.1%増)」など全般的に伸び、8ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同1.6%増)」は、外出自粛の反動による需要増加や、特別定額給付金支給の影響などにより、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同0.4%減)」は、前年に販促企画で伸びた反動や、外出自粛要請の緩和や学校の再開などにより、日配品や生鮮食品が伸びず、前年同月を下回りました。一方、「衣料品(同7.6%増)」は、外出自粛の反動による需要増加などにより、紳士服、婦人服、子供服など全般的に伸び、前年同月を上回りました。「家庭用品(同7.4%増)」は、前年に比べ気温が高く推移したことや、特別定額給付金の支給などにより、エアコンをはじめとする家電全般、ドラッグではデオドラント、殺虫剤等の季節商品が伸び、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、来店客数が減少し、13ヵ月連続で前年同月を下回りました(同31.7%減)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同20.9%減)」は、販促企画を開催するも、かりゆしウェアをはじめ、全般的に伸びず、前年同月を下回りました。「食料品(同38.6%減)」は、お中元企画を前倒しするも、物産展を開催しなかったことなどから、前年同月を下回りました。靴、化粧品等の「雑貨(同42.7%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大によりインバウンド需要が大幅に減少し、前年同月を下回りました。

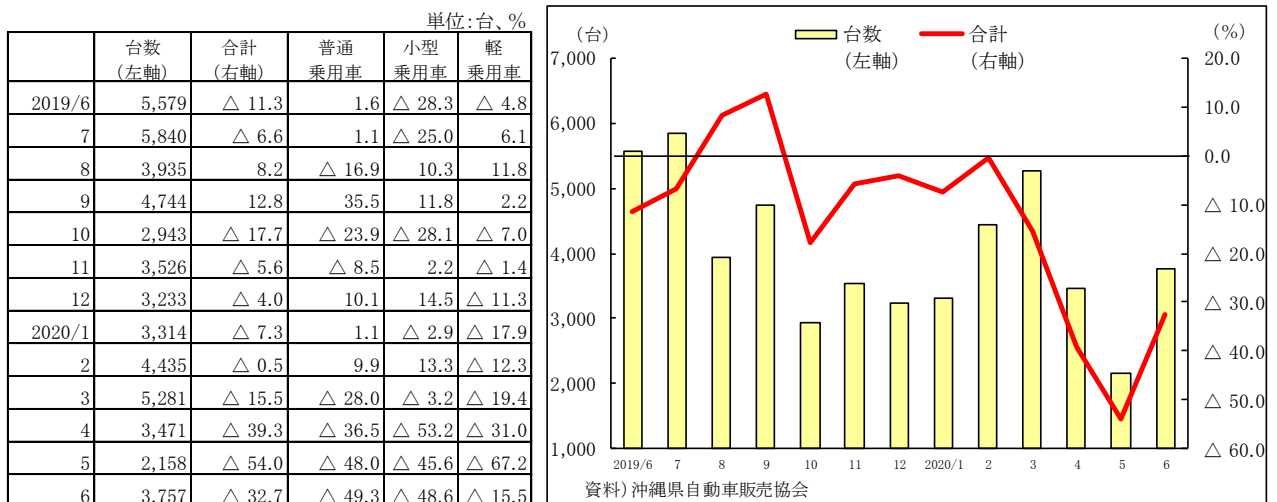
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は4ヵ月ぶりに前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、特別定額給付金の支給などにより、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同9.5%増)。品目別では、「テレビ(同8.9%減)」、「VTR(同39.2%減)」は、在庫が不足したことなどから、前年同月を下回りました。「冷蔵庫(同0.0%)」は前年並みとなりました。一方、「エアコン(同37.2%増)」、「洗濯機(同14.8%増)」、「電子レンジ(同18.5%増)」は、特別定額給付金の支給による買い替え需要の高まりなどにより、前年同月を上回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、9ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

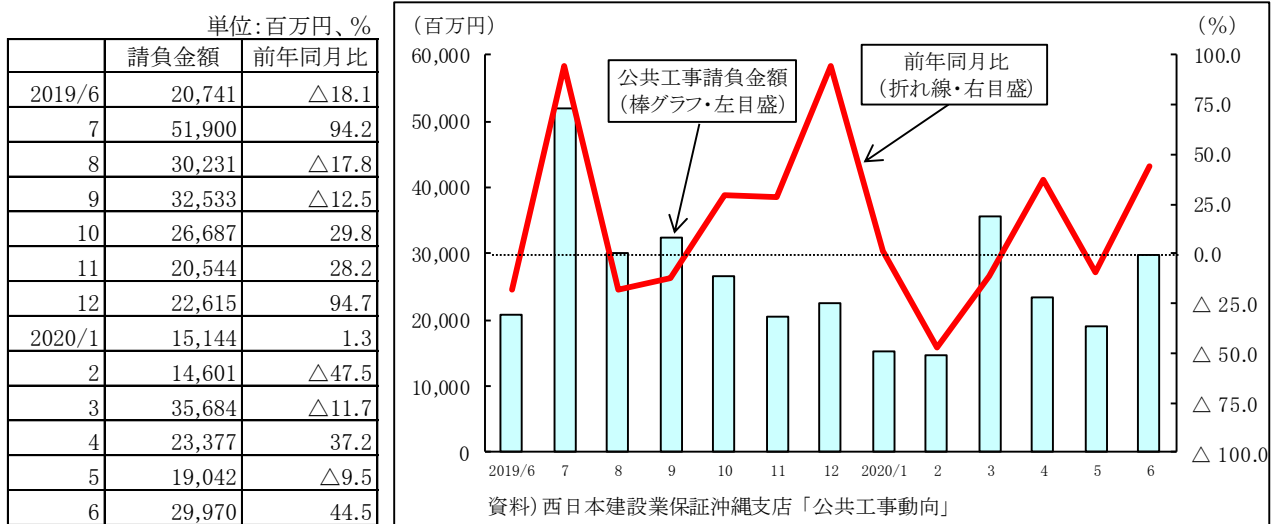
**新車販売台数**は、全体で3,757台(同32.7%減)となり、9ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同49.3%減)」、「小型乗用車(同48.6%減)」、「軽乗用車(同15.5%減)」は、自家用車需要、レンタカー需要ともに減少し、普通乗用車、小型乗用車は4ヵ月連続、軽乗用車は9ヵ月連続で前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

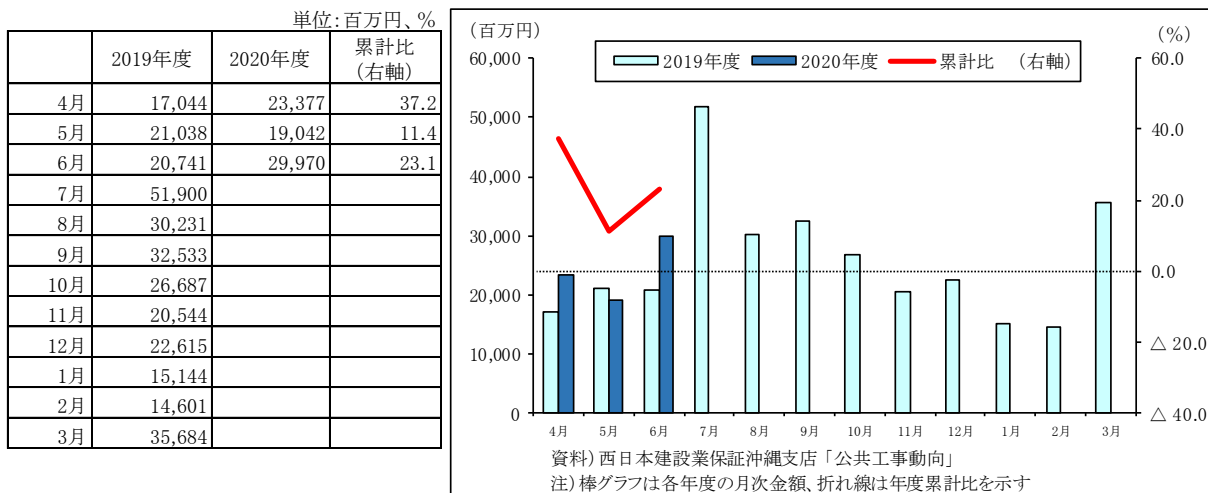


■ 建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



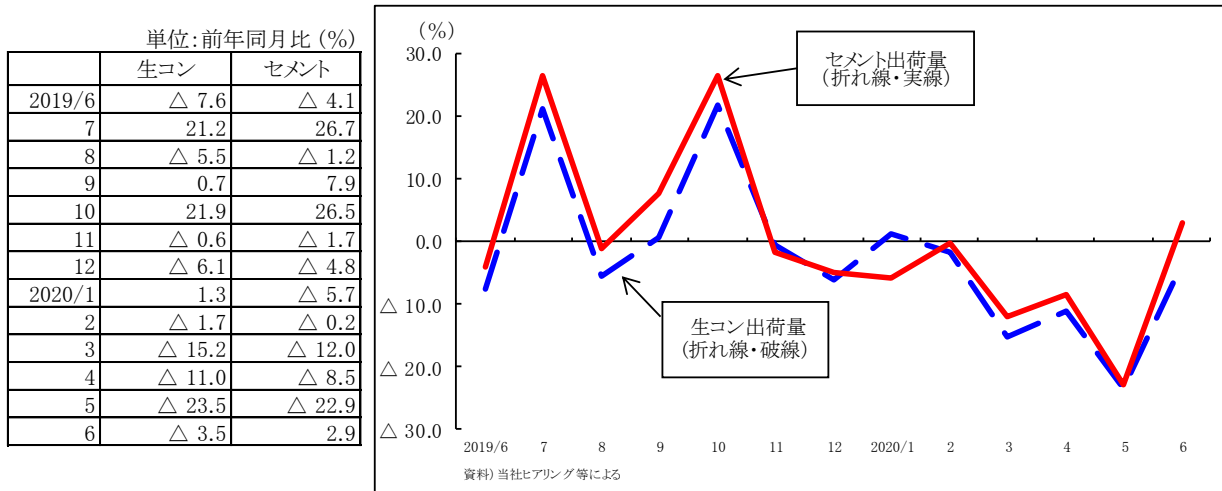
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



6月の公共工事請負金額は、前年同月比44.5%増の299億7,000万円となりました(2ヵ月ぶり増)。今年度累計値では、23.1%増となっています。

発注者別でみると、「国(同62.3%増)」や「市町村(同46.1%増)」、「沖縄県(同24.1%増)」、「その他の公共的団体(同42.4%増)」、「独立行政法人等(同2.9%増)」、すべての発注者において前年同月を上回りました。

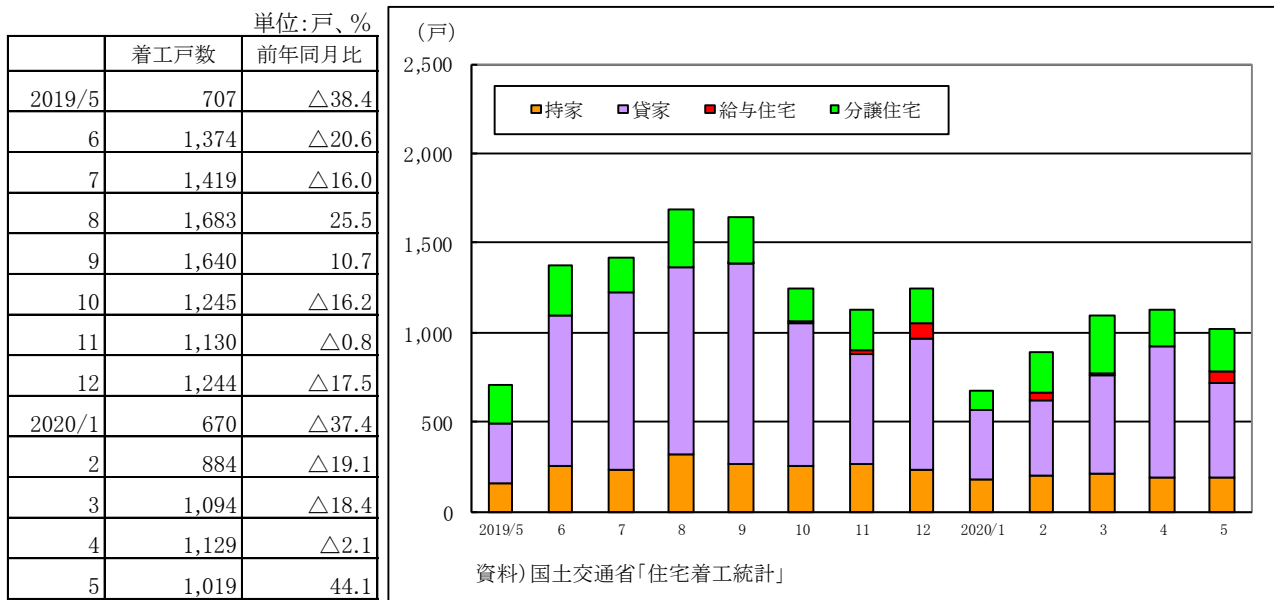
## ②建設資材・・・生コンは前年同月を下回り、セメントは上回る。



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

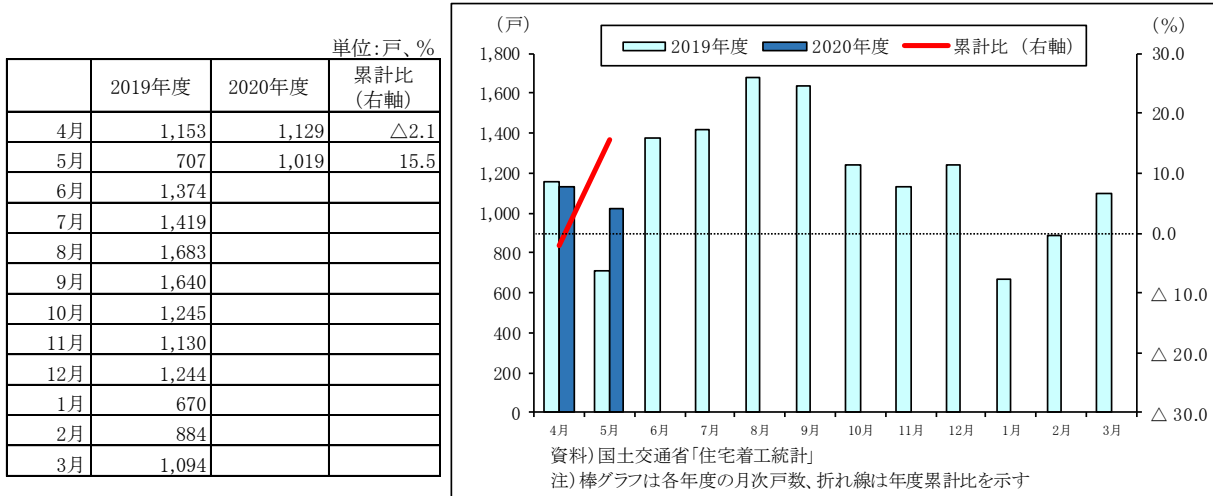
**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は3.5%減と5ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けでは、離島地区における大型工事の竣工による反動減などから前年同月より7.9%下回り、民間工事向けでは、離島地区における宿泊施設・住宅関連需要の反動減などから前年同月より1.2%下回りました。**セメント**出荷量は2.9%増と8ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

## ③【参考】住宅投資 (5月)・・・着工戸数は前年同月を上回る。



**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比44.1%増の1,019戸となり、8ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同60.7%増)」のほか、「給与住宅」や「持家(同18.7%増)」、「分譲住宅(同11.0%増)」が前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を上回る。



今年度累計値では、15.5%増となっています。



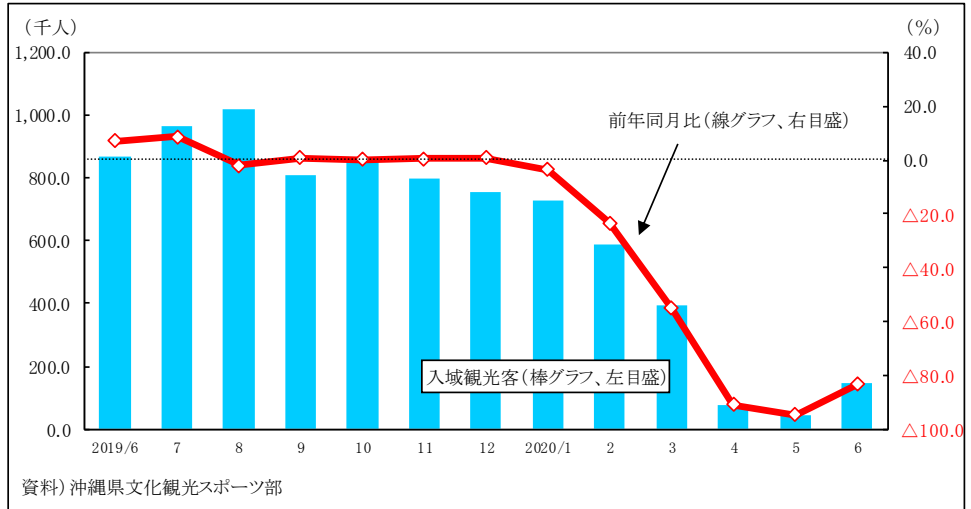
■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・6ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2019/6	868.2	7.2
7	963.6	8.8
8	1,021.2	△ 1.9
9	809.3	1.0
10	851.3	0.2
11	799.2	0.5
12	755.1	1.0
2020/1	727.8	△ 3.4
2	590.9	△ 23.5
3	396.3	△ 55.2
4	77.3	△ 90.9
5	44.0	△ 94.7
6	144.1	△ 83.4

※外国客は乗務員等を含む

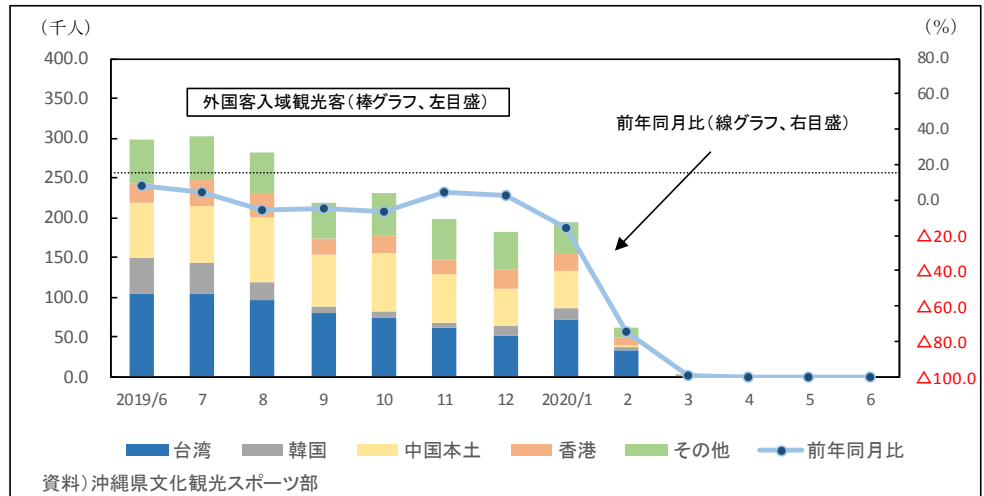


外国客 入域観光客数・・・6ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2019/6	298.4	8.5
7	302.8	4.1
8	282.9	△ 5.7
9	218.7	△ 5.1
10	230.5	△ 6.5
11	199.1	4.2
12	182.4	2.9
2020/1	193.5	△ 15.8
2	61.0	△ 74.6
3	2.4	△ 98.9
4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0
6	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



6月の入域観光客数は、724,100人少ない144,100人(前年同月比83.4%減)となり、6ヵ月連続で前年同月を下回りました。

内訳をみると、「国内客(同74.7%減)」は、144,100人と5ヵ月連続で前年同月を下回りました。航空路線の運休・減便に加えて、新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、6月18日まで沖縄県と首都圏を中心とした都道府県間における不要不急の移動自粛要請が継続されたことなどから、前年同月を大きく下回りました。

他方、「外国客(同100.0%減)」は、0人となり6ヵ月連続で前年同月を下回りました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域を対象とした日本への入国制限措置が継続されたことなどから、皆減となりました。

「台湾(同100.0%減)」「韓国(同100.0%減)」「中国本土(同100.0%減)」「香港(同100.0%減)」

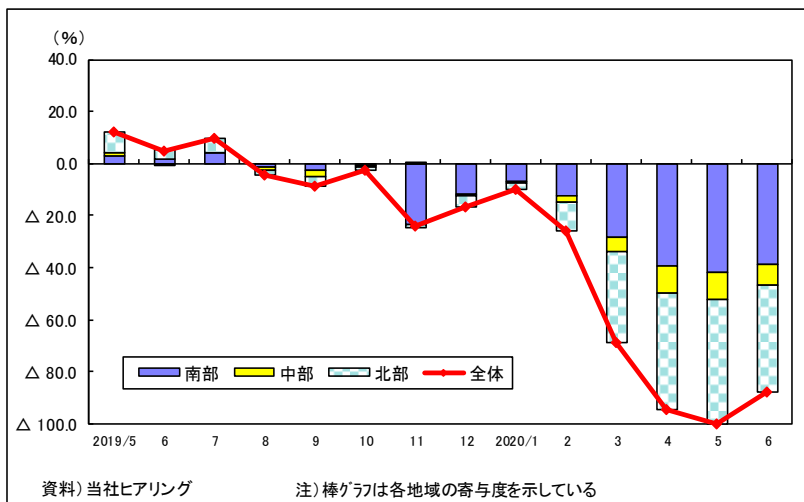
※乗務員等を除く2020年6月実績＝全体144,100人(同82.6%減)、外国客0人(同100.0%減)、国内客は変わらない。



② 観光施設入場者数・・・11ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2019/6	4.6	3.5	△ 6.7	7.8
7	9.8	10.8	2.8	10.3
8	△ 4.2	△ 4.1	△ 11.2	△ 3.0
9	△ 8.7	△ 6.3	△ 25.2	△ 7.1
10	△ 2.7	△ 1.5	△ 9.4	△ 2.4
11	△ 24.2	△ 51.7	3.8	△ 3.3
12	△ 16.7	△ 27.7	△ 6.8	△ 8.8
2020/1	△ 10.1	△ 16.4	△ 6.7	△ 5.3
2	△ 25.7	△ 31.6	△ 23.7	△ 21.3
3	△ 68.5	△ 68.8	△ 52.9	△ 71.8
4	△ 94.7	△ 95.6	△ 94.7	△ 93.9
5	△ 99.9	△ 100.0	△ 99.6	△ 99.9
6	△ 87.7	△ 92.4	△ 92.8	△ 82.9



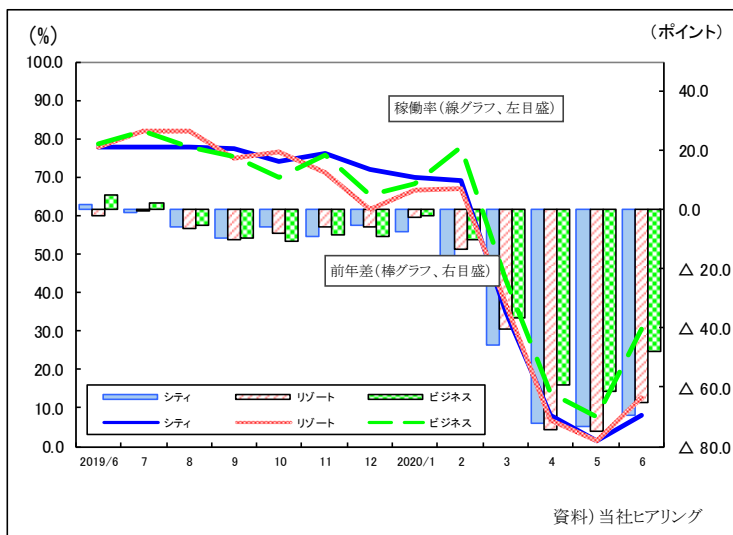
※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設  
 ※2019年3月より、北部の対象施設数に変更(5⇒4)となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。  
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

**観光施設入場者数**は、全体で前年同月より87.7%減少(11ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同92.4%減と11ヵ月連続、中部は同92.8%減と7ヵ月連続、北部は同82.9%減と11ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

単位: %、ポイント

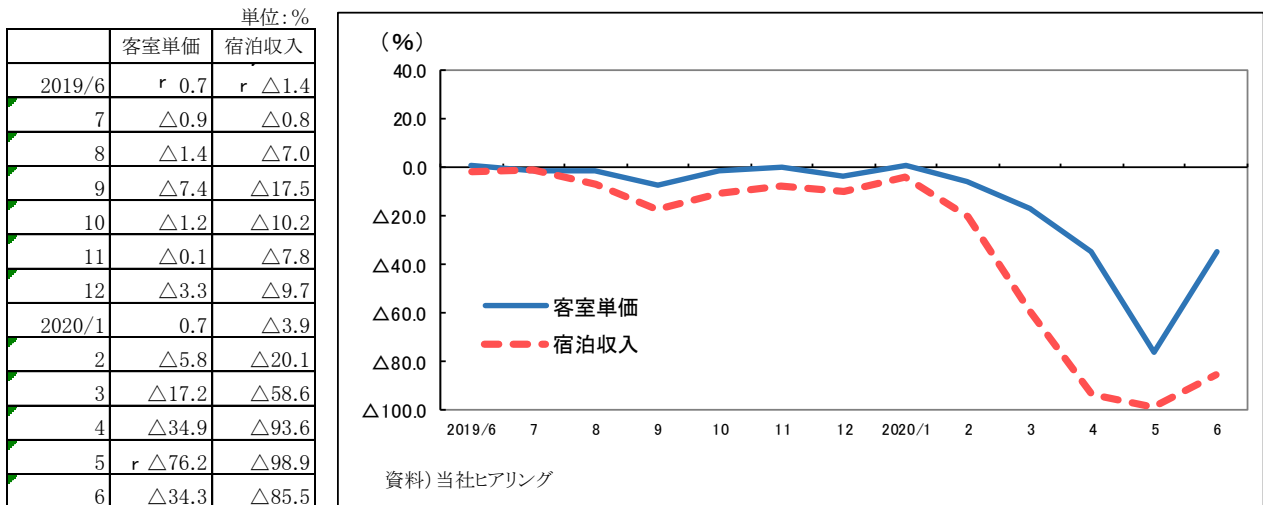
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2019/6	77.8	77.7	r 78.5	1.9	△ 1.8	r 5.0
7	77.8	81.9	81.8	△ 1.2	△ 0.4	2.3
8	77.8	81.9	77.6	△ 5.6	△ 6.1	△ 5.4
9	77.5	75.0	75.3	△ 9.4	△ 10.4	△ 9.6
10	74.1	76.4	70.0	△ 5.8	△ 8.0	△ 10.5
11	76.3	71.2	75.6	△ 9.1	△ 5.6	△ 8.7
12	72.1	61.8	65.4	△ 5.2	△ 5.9	△ 8.8
2020/1	70.1	66.8	68.1	△ 7.6	△ 2.4	△ 1.9
2	69.1	67.1	77.6	△ 19.1	△ 13.2	△ 10.4
3	34.9	37.3	43.2	△ 46.0	△ 40.1	△ 36.7
4	8.0	6.8	13.9	△ 72.2	△ 74.6	△ 59.5
5	1.3	1.4	7.6	r 73.1	△ 74.8	△ 61.2
6	8.2	12.8	30.4	△ 69.6	△ 64.9	△ 48.1



注) シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル  
 注) 2019年11月より、ビジネスホテル対象施設数に変更(6⇒4)となったことから、2018年11月以降の数値を遡って改定した。  
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

**県内ホテル稼働率**は、シティホテルが8.2%と69.6ポイント減少(12ヵ月連続)、リゾートホテルが12.8%と64.9ポイント減少(13ヵ月連続)、ビジネスホテルが30.4%と48.1ポイント減少(11ヵ月連続)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 34.3%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同85.5%減と前年同月を下回りました。

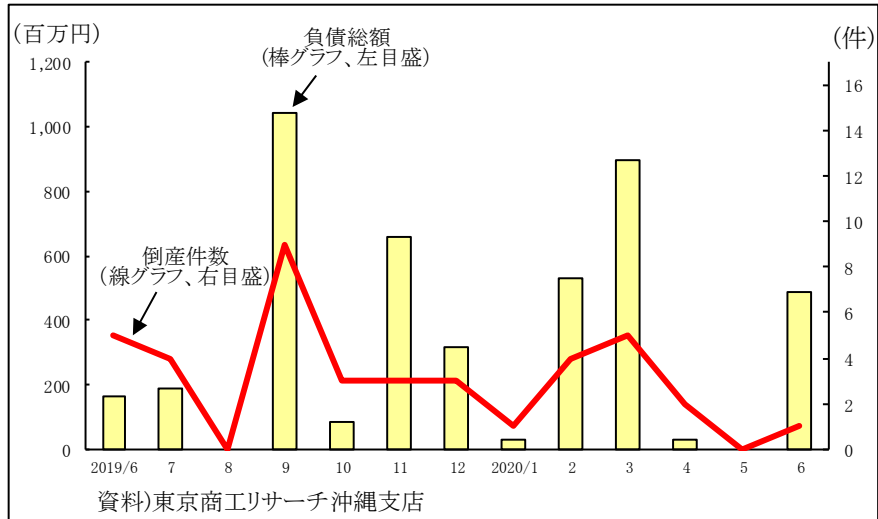


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2019/6	163	5
7	190	4
8	0	0
9	1,045	9
10	86	3
11	660	3
12	318	3
2020/1	30	1
2	530	4
3	897	5
4	30	2
5	0	0
6	490	1



6月の企業倒産件数は、1件(うち大口倒産1件)となり、前年同月より80.0%下回りました。

負債総額は4億9,000万円となり、前年同月より200.6%上回りました。

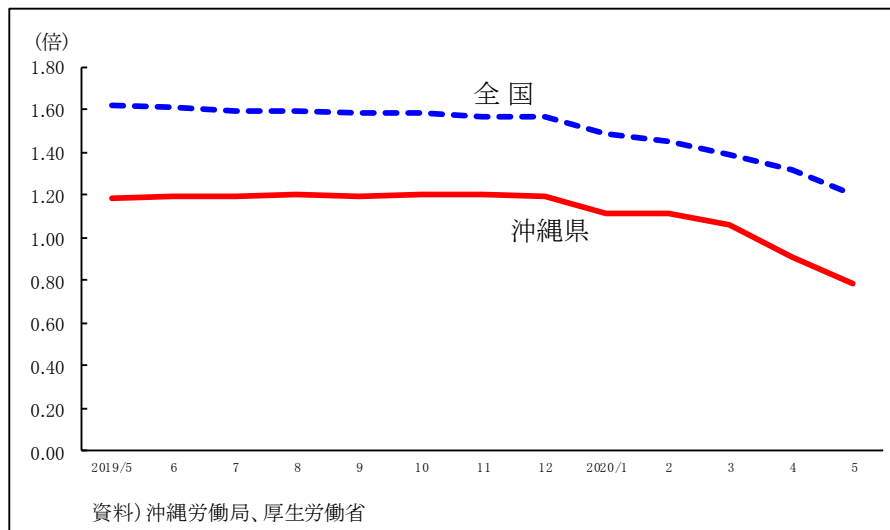


■雇用関連： (やや悪い)

①【参考】有効求人倍率(5月)・・・沖縄、全国はともに前月より低下。

単位:倍

	沖縄県	全国
2019/5	1.18	1.62
6	1.19	1.61
7	1.19	1.59
8	1.20	1.59
9	1.19	1.58
10	1.20	1.58
11	1.20	1.57
12	1.19	1.57
2020/1	1.11	1.49
2	1.11	1.45
3	1.06	1.39
4	0.91	1.32
5	0.78	1.20

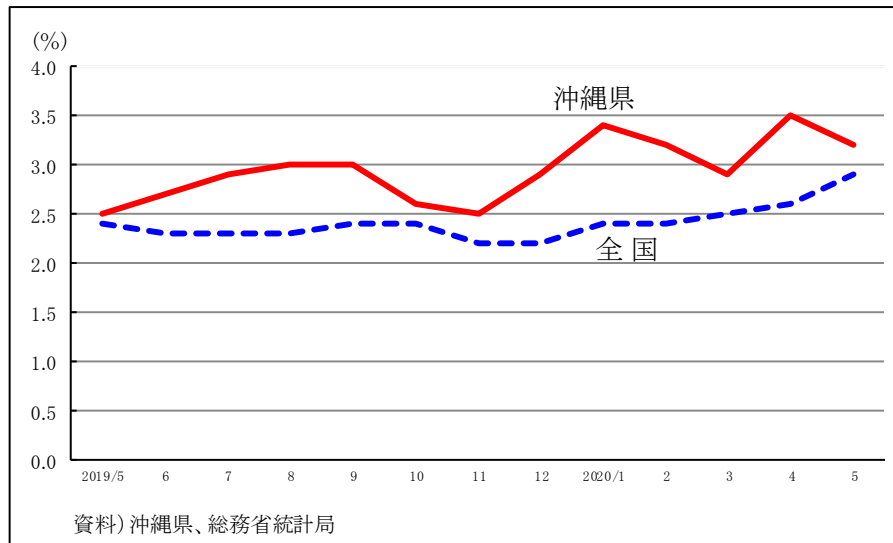


注) 季節調整済

5月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比14.3%減の20,294人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.7%増の26,164人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.78倍となり前月より0.13ポイント低下しました。

②【参考】完全失業率（5月）・・・沖縄は前月より低下、全国は上昇。

単位:%		
	沖縄県	全国
2019/5	2.5	2.4
6	2.7	2.3
7	2.9	2.3
8	3.0	2.3
9	3.0	2.4
10	2.6	2.4
11	2.5	2.2
12	2.9	2.2
2020/1	3.4	2.4
2	3.2	2.4
3	2.9	2.5
4	3.5	2.6
5	3.2	2.9



注) 季節調整済

5月の完全失業率(季節調整値)は、3.2%となり前月より0.3ポイント低下しました。